

No.160



2021.Autumn

〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>

この一瞬に かけろ青春！



このたびの8月佐賀豪雨により被災された皆様、ならびにご家族の皆様に心よりお見舞い申しあげます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心より念じ申しあげます。

時代の振り子と学力観



学校法人佐賀龍谷学園
龍谷中学校・高等学校
副校長

本年7月11日付けで、龍谷中学校・高等学校副校長を拝命いたしました井手和憲と申します。長年、中学校教育や教育行政、福祉分野にも携わってまいりました。これまでに身につけた知識と経験を本校教育に發揮し、邁進していく所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、戦後、学習指導要領の改訂のたびごとに「学力」か「ゆとり」かの学力論争が繰り返されてきました。戦後、間もなくゆとり重視の教育が打ち出されました。昭和32年のソビエトによる人類初めての人工衛星の打ち上げ成功という「スプートニク」により、理数教育や科学技術教育が重視されるようになります。さらに高度経済成長に乗じて「学力」重視の方向へと転換し、日本は国内総生産（GDP）でアメリカに次いで世界第2位の地位に上り詰め豊かな社会を実現します。しかし、算数科における集合論の導入など、抽象度の高い問題、原理や論理を求める問題と、あまりの詰め込み授業により、落ちこぼれや校内暴力、不登校、入学試験にみられる点数至上主義などの受験地獄現象をもたらす結果となります。

そのことにより、昭和52年～53年の改訂では「ゆとり教育」へと変化していきます。学校教育の完全週五日制への切り替えも後押しとなり、「ゆとりと充実」へと転換していき

しかし、一方では指導内容30%の縮減は、学力低下を危惧する大きな波紋を生み出すとともに、世界のトップレベルだった日本の子どもたちや大学生の学力が低下し、文部科学省は「学びのすすめ」を示すなど、平成10年～11年の学習指導要領の改訂では、再び授業時間数を増やし、削減された教育内容の多くが復活し、「生きる力」の育成が登場しま

た。変動する知識基盤社会、グローバル化に主体的に対応するため、平成20年～21年の改訂には思考力・判断力・表現力の育成が重要と指摘されました。

「ゆとり」と「学力」のどちらが大切か左の対称軸で議論し、振り子のように揺れ動いた時代の変化。それよりも、これには收まらない教育の変化を検証・把握し、これから先の時代を読み取つていくことが重要と考えます。

このことを踏まえ、龍谷中学校・高等学校では、21世紀の「本物の学力」と「豊かな心」をもつ人の育成を目指し、「龍谷中高一貫理数グローバル」を教育カリキュラムとして日々の教育を進めています。

取り入れ、教科横断型、探究型学習によって学びを深め、多角的な視点で物事を見つめ探究し、解決していく姿勢を養うことができるように授業を仕組むとともに、iPadを教具として、授業や家庭学習を勧め、疑問や関心を学びの原動力にしつつ、粘り強く調べる姿勢を重視しています。さらに、英語教育の充実により、話す力、聞く力、伝える力などの、コミュニケーション能力の育成と、iPadをツールとしての活用を図り、その能力の深化を目指します。

生徒たちは、そうした中に「自ら学ぶ」との大切さやおもしろさに気づき、そこから高い「志」を抱き、これから的新時代に対応し、自らの力で自身の未来を切り開いていく人生を送ることができると考えます。

- ・理数的なものの見方・考え方の育成
- ・グローバルな視点・発想
- ・個別アセスメントファイードバック（個別の支援と改善や評価による修正）
- ・教師の教える側から学びを支える側としての指導書

により、日々の学習をデザインし、学力と世紀型スキルを身につけ、よりよい未来をつくるために、何にでも挑戦する生徒の育成を目指します。

このように、龍谷中学校・高等学校では、今、必要とされる広い意味での学力に基づいた教育を確実に進めています。

コロナ禍で世論の賛否ある中で、TOKYO2020オリンピック・パラリンピックは開催されました。選手の姿を見ると、これまでの苦難を乗り越えられてきた努力を想像して応援に力が入りました。一生懸命に頑張っている人の姿は、多くの人に感動や勇気を与えてくれますが、オリンピック・パラリンピックでも色々なことを考え、学ばせていただける場面がありました。

オリンピック・パラリンピックに出場できただけでもすごいことなのですが、スポーツに限らず競争をすれば勝者と敗者が生まれます。この事実は「努力は実ることもあれば、自分が期待するときに実るとは限らない」ということを教えてくれています。だから、努力しなくてもいいということではありませんが、頑張つてもすべてが上手くいくとは限らないということです。人生経験を重ねていくと実らない努力に直面することが多くなりますが、敗者の姿を見るたびにそのような現実の厳しさと重ね合わせていました。

パラリンピックを見て、スポーツで感動や勇気を与える人のことをアスリートというのであれば、出場している選手全員は、障がい者ではなく「アスリート」だと思いました。社会において人は地位や名譽、財産で評価されることが多く、それを追いかける人もいるのですが、「与えられた環境でどれだけ頑張るか」が大切であることを学ばせていただきました。さらに、ボッチャや

リンピックでも色々なことを考え
ばせていただけた場面がありました。
オリンピック・パラリンピックに出
場できたことだけでもすごいことなの
ですが、スポーツに限らず競争をすれ
ば勝者と敗者が生まれます。この事実
は「努力は実ることもあるれば、
自分が期待するときに実るとは
限らない」ということを教えて
くれています。だから、努力し
なくともいいということではあ
りませんが、頑張つてもすべて
が上手くいくとは限らないとい
うことです。人生経験を重ねて
いくと実らない努力に直面することが
多くなりますが、敗者の姿を見るたび
にそのような現実の厳しさと重ね合わ
せていました。

パラリンピックを見て、スポーツで

同朋

「有り難い」 || 「有ることか難しい」という言葉が語源と言われています。「ありがとう」の反対語は「あたりまえ」です。家に帰ってテレビで録画した番組を見る。私たちにとって「あたりまえ」のことですが、よく考えるとテレビもレコードも誰かが努力して作り上げた「有り難い」ものです。現在はコロナ禍であり、生活の色々な場面で我慢しなければならないことが多いのですが、3、4年前に「あたりまえ」と思っていたことのほとんどが、実は「有り難い」ことであつたと気づかれます。様々なことが「あたりまえ」になつてゐる今の時代、「有り難い」 || 「ありがとう」という気持ちを忘れないでいたいと思います。

57年前の東京オリンピックから受け継がれた言葉“ARIGATO”。世の中は多様化し変化し続けていますが、月が空の下で走るのには止まらない。

曰か経てても変わつてはいけないものがあります。龍谷中学・高等学校で生
活している私たちは、「建学の精神」
である親鸞聖人のみ教えを大切にして
いかなければなりません。

いかなければなりません
(文責 長田)

の競技のあり方に、これから社会における重要なキーワードとなる多様性と調和、共生社会の実現に向けてのメッセージを強く感じました。

知ろう！体験しよう！ 龍谷高校～オープンスクール～

8月3日と4日に体験型、5日に部活動体験の第2回オープンスクール「龍谷、ちゃんと行つと？」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大が懸念されましたが、中学生、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、しっかりと予防対策の中で実施できましたことに、まずはお礼申しあげます。

中学生の皆さんには、それぞれiPadの体験や、模擬授業、新しい授業の形や取り組みなどのコースに参加していただきました。以下、参加者の皆様の感想をご紹介します。



「ICTの授業がすごいと思った。まだどこに進学しようか迷っているけれど、高校選びの1つの参考になりました。」

「最初は緊張していたけれど、高校生が気さくに声をかけてくれて、楽しく参加できました。それがとても嬉しかったです！！」

「先生方と高校生との雰囲気がとても良くて、信頼しあっているんだなと感じました。」

「コロナ禍だから仕方がないけれど、食堂も体験してみたかったです。」



たくさんの嬉しい感想をいただきました。今後の参考にさせていただきます。

また、今回も大塚製薬様にご協力いただきました。さらに、サンボーフード株式会社様にもコラボしていただき、オリジナルシールを貼った焼き豚ラーメンをあ土産に配布させていただきました。佐賀の企業を応援する！佐賀を盛り上げる！龍谷は、地域と一緒にがんばっていきたいと考えています。



龍谷模試に
挑戦

2021.10.30 sat

【会場】龍谷高等学校教室
【受験料】無料
【定員】200名程度

10月には最後のオープンスクールがあります。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。ご参加、ありがとうございました。

(文責 不二見)

第3回オープンスクール

「龍谷模試にちゃんと挑戦」開催！

保育フェスタ ナビッ子たち大喜び！

7月6日(火)龍谷こども園ホールにてサマーフェスタを開催しました。保育コースの3年生が、授業の実践として龍谷こども園の園児たちに、劇や手遊び、パネルシアターなどを披露しました。各グループ、試行錯誤をしながら体調、園児の発達段階に合わせた台本やプログラムを作成しました。

当日は、練習の成果を十分に発揮することができ、園児たちの楽しそうな笑顔が見られました。

(文責 古賀)

« 生徒の感想 »

今回のフェスタでは、劇を中心とした出し物をしました。最初は動きもぎこちなくてチームワークも良くなかったけれど、練習を重ねるうちに自然と笑顔ができるようになりました。園児の笑顔がたくさん見られ、とても楽しいフェスタになりました。

山口 茜 (③白石)

私は今回のフェスタでグループリーダーとなり、劇や小物作りなど全て自分たちで考えるということが不安でした。実際、劇の構成を考える時、みんなの意見がまとまらなかつたり、小道具がなかなかきれいにできなかつたりすることもありましたが、メンバーが協力してくれたおかげで、本番では今までの練習以上に完璧に仕上げることができました。園児さんたちもとても楽しそうにしてくれたり、良い笑顔を見てくれたりしたので、今まで一生懸命みんなで頑張って良かったなと思いました。

尾崎美玖 (③牛津)





9月6日 龍谷祭

狙うは優勝

~ For One Purpose ~

目標に向かってひとつに！

9月6日、龍谷中学・高等学校最大のイベントである「龍谷祭」が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は文化祭を中止にして体育祭のみの開催となりました。様々な制約の中、団員はじめ生徒たちは工夫しながら練習に取り組んでいました。中学生の初々しいダンス、高校生の迫力あふれる演舞など、見どころ満載の龍谷祭となりました。

(文責 吉田)

予選敗退 ◇高校総体 男子団体・女子個人(5月28、29日 佐賀総合 体育館) 三道部

△第74回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会(7月28日)	○	7	位
8月1日	8	位	7
走り幅跳び	4	×	位
○○○八種競技	100m	リレー	16
走り高跳び	永松	下平	大塚
○○○棒高跳び	16	16	16
記録なし	16	16	16
三段跳び	16	16	16
予選13位	16	16	16
林田 悠吾	16	16	16
(③福 富)	16	16	16
14m	16	16	16
66	16	16	16
17位	16	16	16
小野 順大	16	16	16
(③福 富)	16	16	16
記録なし	16	16	16
川久保賢斗	16	16	16
(③福 富)	16	16	16
城 城	16	16	16
14m	16	16	16
66	16	16	16
17位	16	16	16
小野 順大	16	16	16
(③福 富)	16	16	16
記録なし	16	16	16
川久保賢斗	16	16	16
(③福 富)	16	16	16
城 城	16	16	16
14m	16	16	16
66	16	16	16

△月第	回北	北九州	大分スポ	ソウル公	電工ドーム	(6)
月第	回北	北九州	大分スポ	ソウル公	電工ドーム	(6)
月第	回北	北九州	大分スポ	ソウル公	電工ドーム	(6)
月第	回北	北九州	大分スポ	ソウル公	電工ドーム	(6)
月第	回北	北九州	大分スポ	ソウル公	電工ドーム	(6)

井上	二郎	田中	一
夏稀	梅田悠太郎	久田松彌人	白武
小川	侑也	只隈	勇人
男子個人	3回戦敗退	匠	
女子個人	3回戦敗退	西浦	
土井	清佳	尚希	

△全国高校総体剣道大会(8月9~12日)　いしかわ総合スポーツセンター

◇令和3年度第32回佐賀市長旗争奪1年生大会
(7月31日～8月1日 佐賀市健康センター天然芝G 他)
優勝 龍谷 5-0 佐賀工業
龍谷 1-1 佐賀東
龍谷 3-1 佐賀商業

サッカー部活動ニュース

コロナに負けるな！ 楽しもう♪ 感染対策も！ 学校生活も！

コロナ禍においても、中学生・高校生は元気いっぱいです。感染対策を十分に行いながら、日々学校生活を楽しんでいます。そんな龍谷中学校・高等学校のある1日を紹介します。

【寮でも】感染対策、みんなで取り組んでるよ！



帰寮後の検温はもちろん、入浴時・食堂利用時の人数制限や、食堂にアクリル板を設置することなど、様々な対策を行っています。

《寮長から一言》

私たちの寮では、食事や入浴の時間をずらしたり、マスク着用や消毒の徹底をしたりして感染予防に努めています。お互い注意し合ったり、注意書きを壁に貼ったりして日常的に意識するなど、工夫しています。この意識が当たり前になるよう、これからも頑張っていきたいと思います。
島袋 想 (③沖縄・美東)

【校内も 感染対策！】

昼食時は基本黙食！
前を向いて味わっています。



【朝・登校】二重チェック!!



(検温)

生徒たちは登校前に、必ずその日の体温や体調を生徒専用のアプリに記入。登校後、教室で担任の先生から再度検温してもらい、熱がないか確認します。

【授業中】リモートも楽しい♪



リモート授業も必要に応じて行っています。生徒の自宅や寮と教室をオンラインでつなぎ、講義はもちろん、生徒から先生に質問をしたり、生徒同士やりとりをしたりすることもできます。

佛教×SDGs 2021



8月21日、龍谷総合学園主催の研修会「佛教×SDGs 2021」に本校高校1年生2名が参加しました。この研修会は昨年から行われており、本年度はコロナ禍の影響でオンラインでの開催となりました。龍谷総合学園加盟校26校の生徒が「ジェンダー・多様性」「食べること・エシカル消費」「SNS～対話・コミュニケーションの可能性～」の3つのテーマに分かれ、協議しました。午前中は1校3分間の持ち時間で担当テーマに沿ってアクションプランを発表しました。オンラインで聴衆の反応が分かりにくく、また本校は発表の順番が最後だったこともあり、生徒たちは緊張しながらもしっかりと発表しました。

午後は各テーマに分かれ、協議会を行い、具体的なアクションプランを立てていきました。各校で意見が食い違う場面もあり、なかなか上手くいきませんでしたが、生徒たちにとっては良い経験だったようです。

佛教とSDGsの共通点は「誰一人取り残さない社会」の実現です。参加した2人はその実現に向けて、この研修会一回りではなく、具体的なアクションを起こしていくことが重要だと話していました。

(文責 楠本)

○生徒の感想

今回、佛教×SDGsでオンライン会議に参加させていただきましたが、初めてだったので、緊張しました。無事に終えることができ、良かったです。私達は、SNSについて考えました。とても便利ですが、使い方によっては人を傷つけることになるSNSを、どう使っていけばいいかということで、佛教の教えも合わせつつ考えました。この会議のなかで、沢山の意見を交換することができ、それらを参考にし、対策を考え、実行していくたいと思います。今回の会議では、自分達のことについても同時に考えることができた、いい機会となりました。

藤海 真成 (①長崎・高来)

SDGsについて話し合いをしたりアクションプランを考えたりする機会はこれまで多々ありました。今回のように数多くの学校の色々な人と意見を交換しながら、しかも「佛教」を絡めながらアクションプランを考えるというのは初めての機会でした。3分と言う短い時間を使ってどのようなアピールをするか考えるのは難しいことでしたが、進めるにつれ発表から意見交換まで楽しむことができました。今回見聞きした様々な意見や考え方、取り上げられた問題に直面し、1人1人がしっかりと意見を持ちながら真剣に取り組んだからこそなのだと思います。これらることは今後活動していく中の問題を解決するきっかけになればと思っています。

横須賀愛理 (①龍谷)



龍谷 SDGs ナウ



PBL 学習

日本青年会議所九州地区佐賀ブロック協議会（以下JC）の方々の協力を得て、中学1年生と高校2年生のそれぞれがSDGsに関する政策提案を行うというPBL（Project-Based Learning；テーマに基づいた探究学習）学習に取り組みました。中学生は佐賀のフードロスを少しでも軽減するための政策案、高校生はCCUS事業（二酸化炭素回収・利用・貯留）をより活用するための政策案についてでした。この学習の特徴は活動開始時にテーマが発表されて、グループごとに情報を探したり、既知の知識を活用してアイディアを考えたり、限られた時間の中でそれぞれのグループが役割分担を行いながら取り組みました。



コンペ形式で行われたので中学生も高校生も持っている知識や経験を総動員してアイディアを練り上げたり、相談したりしながら午後のプレゼンに臨むことができました。会場にいた先生たちの助けはなく、グループメンバーと協力して話を何度も繰り返しながら政策案作成することができたと思います。

それぞれの優勝、準優勝の2チームずつが9月23日（木）に伊万里市で行われた発表会に参加しました。高校生は動画上映という形で参加し、中学生のグループは日頃のプレゼンの練習の成果を発揮するように堂々とステージ上で発表することができました。

今後も社会とつながりながら、自分たちにできることをしっかりとと考えながら、SDGsの学習に取り組んでいきたいと思います。



（文責 中村）

森川海人っフェス

7月22日、鹿島市干潟交流館なな海にて佐賀県主催【森川海人っフェス】が行われました。一昨年から本校も携わっています。今年は、ふれあいエリアで龍谷ベース『SDGs』まずはあなたの一步から』を企画して参加しました。高校生徒会・中学1年生が体験コーナーを設けました。

今年度の取り組みでは、SDGsを「知る」「広める」「実践する」ことを目標に掲げ、生活の中に生かすきっかけ作りをすることを目標にしています。

また、中学生はイベントエリア・ステージにて『ちょっと聞いてね、私たちの提案』として、生活の中でもできるSDGsをプレゼンしました。参加した生徒たちも、身近な生活の中で『気付き』を得たようでした。今後も、SDGsに寄与できる人材に成長していきます。

（文責 徳森）



（生徒感想）

私たちのグループは「海を手に取ってできることは？」の体験コーナーを企画しました。ペットボトル内に再現した『海』に廃油が流れたらどうなるかを目の前で見てもらい、汚染された水を確認後、「これが家のお風呂だったら」と聞くと、「入りたくない」と答えてくれました。海洋生物も同様、嫌なはずです。これからのお未来の海を私たちが守っていきたいと思いました。小柳 韶加さん（①鍋島）

私たちのグループは「みんなは知らない？魚のきもち」の体験コーナーを企画しました。人間が出すゴミによって、海洋生物がいかに困っているかを体験してもらいました。ゴミが絡まって泣いている魚（摸型）を見てもうことで、困り悲しんでいる生き物がいることを知りました。フェス終了後、私は登校時にゴミパトロールをするようになりました。今後は、登校時間に余裕を持って一つでも多くのゴミを拾っていきたいです。吉田真由子さん（①東与賀）



SDGs × 美術

昨年の夏に開催し様々な反響をいただいた同展を、今年も8月24日～10月8日（金）までの会期で開催いたしました。えびすFM『龍谷スマイルダイアリー』というラジオ番組に、三井住友信託銀行佐賀支店のスタッフの方々と出演した際に、「SDGsにふさわしい持続可能」な活動を、今年も是非！」とお話をいただき、ロビー展の継続が実現しました。

会場は、三井住友信託銀行佐賀支店ロビー、展示作品は、絵画やポスター22点です。

美術科では、この世界の様々な問題に対し、一人ひとりが主体的に関わろうとする思いを表現活動に結びつけ、SDGs絵画を描きました。

美術展の様子は、新聞やテレビ等各メディアでも紹介されました。取材や撮影の現場で、生徒たちは緊張しながらも凛として自らの考えを語りました。その姿は、未来を変えていくこうとする種が生徒たちの中で芽吹いていることを物語るようで、未来への希望を感じさせるものでした。

SDGsを知識としてだけではなく、行動に結びつけられる「これからの地球人」を育てていくことが教育現場の使命だと信じ、未来に種をまき続けていきます。

（文責 田久保）



一人ひとりが「自分」を見つめて

龍谷中学校 2021

将来の自分をプロデュース

～Future Design発表会～

7月17日（土）、三年生による「Future Design（フューチャーデザイン）発表会」が、講堂にて行われました。会場には一・二年生と三年生の保護者が参加し、興味深く聞き入りました。

自分が思い描く「夢」を実現させるために、一年生では、「進路調べ」。二年生では、「職業人インタビュー」と、三年間を通して、将来に向けての考察を深めできました。

この日は、中学生として、また、これから取り組むべきことなど、これまで学んだことをスライドにまとめ、一人ひとりプレゼン形式で堂々と発表しました。

（文責 松尾）



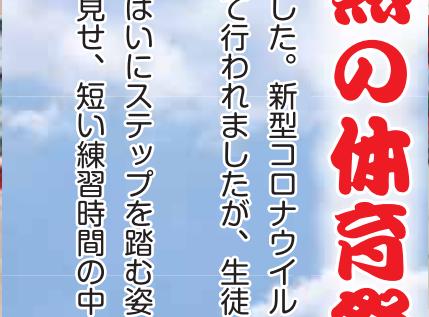
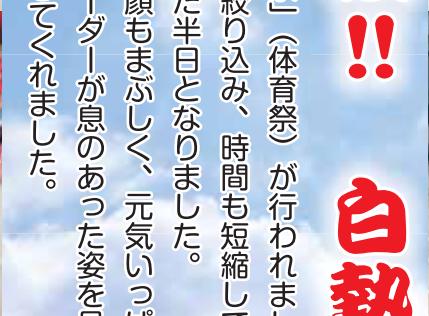
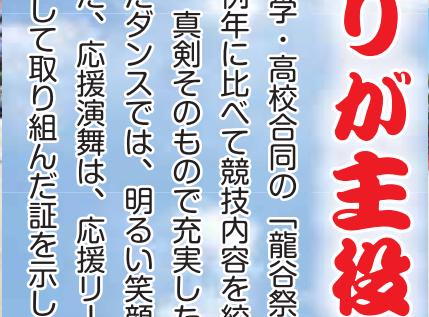
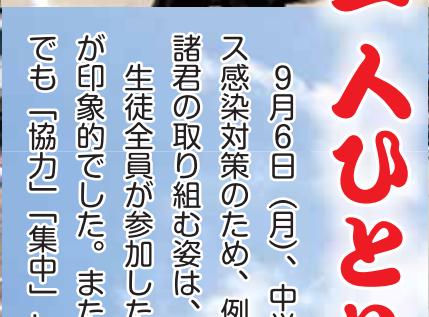
“未来を変えるのは、人任せではなく、
私たち一人ひとりのちょっとした取り組みから始まる”
～ 目頃の思いを自分のことばで伝える～



8月29日（日）、令和3年度「第43回 少年の主張佐賀県大会」が、アバンセホールにおいて開催されました。県内予選審査を通過した古川美羊さん（③松浦）は、優良賞に選ばれました。「食べ物」というテーマで、食品ロス問題について、具体的に数字を示したり、「ドギーバッグ」などの身近な例を挙げ、具体的に自分の思いを主張しました。

世界中で深刻化する飢餓問題や食品ロス問題を解決していくためにも、一人ひとりがちょっとしたことから取り組み始めること。そして、友だちや家族などの身近な人と一緒に取り組むことの重要性を訴えました。





一人ひとりが主役!! 白熱の体育祭

9月6日（月）、中学・高校合同の「龍谷祭」（体育祭）が行われました。新型コロナウイルス感染対策のため、例年に比べて競技内容を絞り込み、時間も短縮して行われましたが、生徒諸君の取り組む姿は、真剣そのもので充実した半日となりました。

生徒全員が参加したダンスでは、明るい笑顔もまぶしく、元気いっぱいにステップを踏む姿が印象的でした。また、応援演舞は、応援リーダーが息のあつた姿を見せ、短い練習時間の中でも「協力」「集中」して取り組んだ証を示してくれました。

龍谷中学校・龍谷高等学校の皆さんへ

夏季休暇も終了し、いよいよ受験モードに入った高校3年生、早い段階から進路について考えている高校2年生、1年生、中学生に九州龍谷短期大学のご紹介です。九州龍谷短期大学は人間コミュニティ学科、保育学科の2学科を設置している短期大学です。更に人間コミュニティ学科は司書・心理、メディア、仏教の3つのコースに分類され両学科ともに特色ある分野を学ぶことができます。

2021年4月より独自の給付型奨学金がスタートしました。この制度により龍谷高等学校出身者は2年間で48万円の給付を受けることができるようになりました。返還は不要になりますので、経済的負担も少なくなります。又、龍谷高等学校出身者は入学金10万円を免除致します。四年制大学への編入も可能ですので、進学を考えている方は是非進路の選択肢に入れてみてください。併願先としての受験も大歓迎です。



九州龍谷短期大学のLINE公式アカウントをご存知ですか？
オープンキャンパスやガイダンスの出展情報、入試情報など様々なお知らせをお送りします。
「九州龍谷短期大学」で検索後、ぜひ「友だち追加」してください。



鳥
栖
市

九州龍谷短期大学

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。詳しいことは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園

メニュー ①折り紙教室 ②看護師さんのお話 ④製作遊び ⑤サッカー場で遊ぼう
完全予約制（コロナ対策のため）です。ぜひ、こども園までお越しください。



こども園で
楽しんでいます！

▲保育園部の子どもたちも
楽しく英語教室に参加
しています



▲おじいちゃん、おばあちゃん
へ敬老の日のプレゼントを
おくりました



10月はいよいよ運動会。つばめ組では、リレー遊びが流行っています。「みんな、がんばれ！」